

平成 2 5 年 4 月 9 日 開 会

平成 25 年度第 1 回教育委員会定例会会議録

垂水市教育委員会

件名	提案理由	審議の状況	採決の次第
報告第2号 平成25年3月31日付け退職者、平成25年4月1日付け教育委員会職員及び小・中学校教職員定期人事異動について	退職者、転出者、転入者等を報告するものである。	特記事項なし	
報告第3号 平成24年度垂水市奨学資金貸付基金の運用状況について	平成24年度垂水市奨学資金貸付基金の運用状況について報告するものである。	特記事項なし	承認
議案第14号 平成25年度垂水市特別支援教育支援員の委嘱について	平成25年度垂水市特別支援教育支援員を委嘱しようとするものである。	特記事項なし	承認
議案第15号 垂水市スポーツ推進委員の委嘱について	垂水市スポーツ推進委員を委嘱しようとするものである。 任期：2年	特記事項なし	承認

平成25年度第1回教育委員会定例会出席者

日時及び場所	出席者	
<p>平成25年4月9日（火）</p> <p>午後1時30分</p> <p>↓</p> <p>午後2時40分</p> <p>小会議室</p>	<p>教育委員長 橋口 敬二</p> <p>教育委員 野村 繼治</p> <p>教育委員 田原 正人</p> <p>教育委員 中谷 いつみ</p> <p>教育長 長濱 重光</p>	<p>教育総務課長 川畑 千歳</p> <p>学校教育課長 牧 浩寿</p> <p>社会教育課長 瀬角 龍平</p>

会 議 要 旨

1 開 会

定刻、定足数に達しており、平成25年度第1回教育委員会定例会を開会した。
報告第2号並びに議案第14号及び議案第15号については、非公開で審議する旨、委員長から発議があり、全会一致で議決された。

2 平成24年度第12回教育委員会定例会及び第3回臨時会会議録の承認

承認

3 委員並びに教育長及び課長報告

4 議 事

報告第2号 平成25年3月31日付け退職者、平成25年4月1日付け教育委員会職員及び小・中学校教職員定期人事異動について
報告第3号 平成24年度垂水市奨学資金貸付基金の運用状況について
議案第14号 平成25年度垂水市特別支援教育支援員の委嘱について
議案第15号 垂水市スポーツ推進委員の委嘱について

5 その他

6 閉 会

議事内容等

委員就任挨拶	
中谷委員	(自己紹介) 20代から50代まで、子どもたちとの生活の場に身を置いてきたことは、幸せなことと感謝している。今回、教育委員という任務をいただいたことに感謝してお受けした。自分のできることをしっかりと取り組んで行く覚悟であるので、皆様のご指導をお願いしたい。
3 報 告	委員及び教育長及び課長報告
委員長	教育委員、教育長及び各課長の報告をお願いします。
野村委員	<p>3月13日、垂水中央中の卒業式に出席したが、今年の卒業生は中央中がスタートと同時に入学した生徒達であり感慨無量であった。統合中学校としていろいろな意味で真価が問われた3年間だったが、証明されたという印象を受けた。卒業生は119名で、重量感のある式典であり、生徒が式典の間、整然とした立派な態度で望んでいたことを褒めたい。大変素晴らしい式典であった。</p> <p>3月22日、垂水小の卒業式に出席したが、市内で一番児童数が多い学校で、量感があり、多くの出席者で見送った。</p> <p>4月8日、松ヶ崎小の入学式に出席したが、入学児童は男子児童3人で、こぢんまりとした、心のこもった式であった。気がかりは、児童が在籍しない学年が2学年あり、淋しい思いをした。</p>
田原委員	<p>中央中の卒業式は素晴らしく、特に生徒達の送辞、答辞の内容が素晴らしく良かった。自分達の学校、新しい伝統を作っていくという思いが伝わった。</p> <p>柘原小の卒業式は6名の卒業生で、アットホームな雰囲気卒業生、在校生とも涙を流していた。児童数が少ない分、上級生、下級生のつながりが強く、非常に良い卒業式であった。</p> <p>新城小の入学式は入学児童は2名であったが、保護者席は何倍もの地域の方々が登場され、感激した。地域の学校として、しっかり根付いている。</p> <p>卒業式、入学式の告辞、特に卒業式の告辞は少々長いと感じた。新入児童は長い時間集中できないので、ポイントを絞り短くした方が良いのではないか。教育委員会告辞の概要を前もって学校側に教えてあげれば、学校と重複せず良いという意見が地域の会合で出された。</p>
委員長	委員から告辞の長短について、又、校長の式辞とのダブリについて発言があったが、教育委員会の考えはどうか。
学校教育課長	学校長時代に経験があるが、卒業式の式辞、告辞には校長、市教委とも年々の社会情勢等を反映させるのでやむを得ない面がある。今後、告辞は内容を精査して短くすることや、普遍的なものは生かしつつ、重なる部分は切り口を変えるなど検討していきたい。
野村委員 委員長	垂水市の教育行政の方針等は、告辞に入れることになるのではないか。今後、告辞については、お互いに勉強する必要がある。

中谷委員	<p>牛根小の入学式が初仕事になったが、穏やかな空気の中、自分自身、覚悟を持って望んだ。告辞は大事なことを伝えるので、式辞と重なって当たり前と思う。</p> <p>本市の小学校の中には児童数が少なく、学年1人という学校もあることから、保護者は心配しており、児童数を増やす対策が必要だ。教育委員会が他校との交流の機会を作ったことは良いことなので、児童のことを思っ て機会を増やしていただきたい。</p>
委員長	<p>今後の課題として取り組まなければならない。教育長の考えを聞きたい。</p>
教育長	<p>県下全域で中学校の統廃合が進み、ここ1、2年、他市町村においては、小学校の統廃合が進められている。本市でも中学校の統廃合が進められたが、その過程で、小学校の統廃合についても検討がなされた経緯がある。市議会での答弁では、「小学校への地域住民の期待は大きく、当分の間は現状のまま。」との考えが示されている。</p> <p>子どもが少なくなっている中、交流学习は大切である。セカンドスクールや垂水小に全校が集まっての交流学习、新城小と柗原小、牛根3校が行う集合学習に取り組んでいる。平成25年度は、初めて5校による集合学習を計画している。これまで、セカンドスクールと修学旅行は隔年おきに実施され、25年度は修学旅行がある年であるが、5校による集合学習を実施することから、実質、1回増えることになる。このような取組を当面続けながら子ども達の社会性やコミュニケーション力を身に付けるようにしていきたい。</p>
教育長	<p>今回の人事異動で転出した教職員は新任地で元気な様子である。転入者はこの後、宣誓式があり、歓迎会では激励等を賜りたい。</p> <p>水之上小の卒業式は立派であり、支援を要する児童も長時間、卒業式に臨んでいた。1年間の指導でここまで成長するのかと、教育の素晴らしさを実感した。24年度6名配置した支援員を、25年度は8名に増やしており、支援員の力を借りながら教育を進めていく。</p> <p>垂水高校の入学式に出席したが、2次募集において、市内外の4名が合格し、合計42名が入学した。昨年度は2次募集に申込みがなかったとのことであり、今年4名は垂水高校にとって大きく、2次募集に向けて取組を進めた通学費補助の結果が少し出たと捉えている。今後、高校長と教頭の管理職お2人は、生徒募集に向け中学校を直接訪問されるとのことであった。</p>
委員長	<p>垂水高校の入学者が42名と報告があったが、入学者が50人を超えるよう努力していきたい。小・中学校の入学式に出席した時、各学校、花が綺麗だった。学校主事に感謝の気持ちを伝えて欲しい。特に、垂水中央中のペチュニアが素晴らしく、境小のシネラリアも綺麗だった。</p>
<p>教育総務課長 学校教育課長 社会教育課長</p>	<p>3月13日から4月8日までの主な行事等について報告。 併せて、5月14日まで今後の予定についてお知らせした。</p>

委員長	教育委員会として、さわやかあいさつ運動にどのような取組を行っているか。
社会教育課長	交通安全運動に合わせて、7時30分から8時まで市民館前の交差点に襷をかけて立哨、声かけしている。今後、ポスターや標語を募集・作成していく。
委員長	私も街頭に立ってあいさつ運動に参加しているが、垂水小では保護者が児童を自家用車で送る様子を見かける。体を鍛える意味で歩いて登校するよう、校長会で指導してほしい。
野村委員	牛根小では、遠くから通学する児童を保護者が学校の5～600メートル手前で降ろし、歩かせるなど工夫している。
学校教育課長	年間を通してお願い、指導している。
4 議 事	報告第3号
	平成24年度垂水市奨学資金貸付基金の運用状況について
学校教育課長	平成23年度末の基金現金残高、前年度中の貸付金額、返還金額、預金利子の繰入金額、前年度末の基金現金残高、滞納額等について説明。
野村委員	滞納は増えているか、減っているか傾向をお知らせいただきたい。
学校教育課長	滞納状況は、平成22年度の滞納額は10,245,500円、平成23年度8,284,500円、平成24年度7,851,000円と年々減少しており、基金残高は増加している。ただ、苦慮している事例もある。
野村委員	全く連絡がとれない事例があるか。
学校教育課長	昨年、一昨年と行方不明の事例があったが、その後判明、督促状を送付できた。今後、コンタクトをとっていく。
教育長	3年前から公立高は授業料が無償化になった。私立高の貸し付け状況はどうか。
学校教育課長	高校生の貸与月額は1万円である。19、20、21年度とそれぞれ4人、3人、1人に貸与した。無償化になった22年度と23年度は該当者なし。24年度は私立高生徒3人が制度を利用した。
委員長	異議がないようなので、報告第3号は承認された。

	<p>報告第 2 号 平成 25 年 3 月 31 日付け退職者、平成 25 年 4 月 1 日付け教育委員会職員及び小・中学校教職員定期人事異動について (非公開)</p> <p>議案第 14 号 平成 25 年度垂水市特別支援教育支援員の委嘱について (非公開)</p> <p>議案第 15 号 垂水市スポーツ推進委員の委嘱について (非公開)</p>
5 その他	
6 閉 会	特になし